

平成23年度 民間事業者研究会活動

■活動方針

戦後最大の災害ともいえる東日本大震災は、改めて我が国にとって「災害に強い街づくり」が重要であるか再認識させられる機会となった。一方、他の市街地においても、防災性の向上が求められる木造密集地域の改善や、社会経済構造の変化に対応するための既成市街地の再生など、街づくりに対する社会的要請は依然として大きい。

今年度は、これら街づくりに対する社会的要請にこたえるため、引き続き区画整理手法を用いた街づくり・都市再生事業等に民間事業者が参画する上での問題点や課題等を抽出し、これら課題の解決方法に関する調査・研究に取り組んでいくこととする。

■活動概要

総会	7月22日開催、17社40名参加
役員会	7月22日開催、11社15名参加
活動報告会	7月22日開催、17社32名参加
幹事会	11回開催
分科会	「区画整理と土壤汚染に関する」検討分科会 15社20名参加 【テーマ】 土壤汚染による健康影響の懸念や対策について社会的要請が強まっている中、平成14年に土壤汚染対策法が制定され、平成22年に一部改正された。この改正を受け、土壤汚染対策が土地区画整理事業を実施する上で大きな影響を及ぼすことが考えられることから、土壤汚染対策に関する課題を整理し、課題解決のための方策を研究する。
講演会	「～立地するなら埼玉へ～『チャンスメーカー埼玉戦略2』の取組について（区画整理事業と企業誘致戦略）」 埼玉県産業労働部企業立地課主幹 鳥海靖弘 氏 「東日本大震災の復興事業に関する課題について」 内閣官房東日本大震災復興構想会議専門委員会委員 藻谷浩介氏 「鎌ヶ谷駅周辺地区におけるエリアマネジメント（タウンマネジメント）の事例紹介」 NPO法人「KAOの会」事務局長 原 拓也 氏
意見交換会	国土交通省 市街地整備課、8月24日開催 (社)街づくり区画整理協会政令市二部会研究会第3ワーキンググループ、9月8日開催 (財)都市農地活用支援センター、11月29日開催 横浜市(11/24)、千葉県(12/16)、東京都(12/21)、神奈川県(1/13)、さいたま市(1/26)、 千葉市(2/1)、埼玉県(2/7)

